

授業科目区分	分野専門科目 (人間科学分野)	授業対象学生	1年次 選択		
授業科目名	自動車安全文化論				
講義題目					
授業方法及び開講学期等	前期・後期・通年	曜日	時限	単位数	2単位
通常授業・集中講義・臨時	集中講義				
担当教員	履修条件				
志堂寺 和則					
<b>授業の概要</b>					
<p>人間科学の立場から自動車の安全性を考えるために、交通事故の実態、運転適性と交通安全教育について学習する。最初に、どのような事故がどのくらい起こっているのかを認識するために事故統計について紹介する。次に、交通安全に関する学問的基礎である交通心理学について概略を説明し、事故要因、歩行者・自転車の事故、ヒューマンエラーの理論、さらに運転適性（性格理論や心理テスト、交通事故傾性、事故傾向、運転適性、運転適性検査）について紹介する。次に、交通安全教育について、国や地方自治体、学校、地域、企業、海外の取り組みを説明する。最後に、近年、研究開発が進みつつある運転支援システムについて紹介する。</p>					
<b>全体の教育目標</b>					
<p>この講義では人間科学の立場から自動車の安全性について考えるために、交通事故の実態、運転適性と交通安全教育について学習する。これまでの安全対策を把握し、将来の施策、対策への展望が自分なりに持てるようになることが本講義の目標である。</p>					
<b>個別の学習目標</b>					
<p>交通事故統計の見方、交通心理学の概略、運転適性に関する過去研究、現在日本や世界で行われている交通安全教育について理解する。</p>					
<b>授 業 計 画</b>					
(第1回) ガイダンス					
(第2回) 自動車事故原因の調査と分析、事故統計					
(第3回) 交通心理学1 (視知覚、認知)					
(第4回) 交通心理学2 (運転行動モデル、リスクテイキング)					
(第5回) 自動車事故の直接要因と間接要因					
(第6回) 歩行者事故, 自転車事故					
(第7回) ヒューマンエラー					
(第8回) 運転適性1 (性格理論, 心理テスト)					

<p>(第9回) 運転適性2 (事故傾性, 事故傾向, 運転適性)</p> <p>(第10回) 運転適性3 (運転適性検査)</p> <p>(第11回) 交通安全教育1 (国や地方自治体の交通安全行政, 施策)</p> <p>(第12回) 交通安全教育2 (地域での交通安全教育, 企業での安全管理, 安全風土形成)</p> <p>(第13回) 交通安全教育3 (海外の交通安全教育, 運転者教育)</p> <p>(第14回) 運転支援システム</p> <p>(第15回) まとめとディスカッション</p>
<p><b>キーワード</b></p> <p>交通事故統計、交通心理学、運転適性、交通安全教育、運転支援システム</p>
<p><b>授業の進め方</b></p> <p>PC画面の投影を中心に、配布資料を使って講義をおこなう。</p>
<p><b>教科書及び参考図書</b></p> <p>教科書：必要に応じてプリントを配布する。 副読本・参考書：適宜、講義中に紹介する。</p>
<p><b>学習相談</b></p> <p>随時可能。事前にメールで予約してください。</p>
<p><b>試験・成績評価等</b></p> <p>(評価方法)</p> <p>レポートにより評価する。</p> <p>(評価基準)</p> <p>出席2 / 3以上。過去の安全対策について理解しているか、安全対策に関する今後の計画を具体的に論じられるかを評価する。</p>
<p><b>その他</b></p> <p>前期に開講されている「交通心理学」を受講していることが望ましいが、必須ではない。未受講者のために、第3回および第4回の2回で、交通心理学について概観する。「交通心理学」受講者にとっても復習となるであろう。</p>